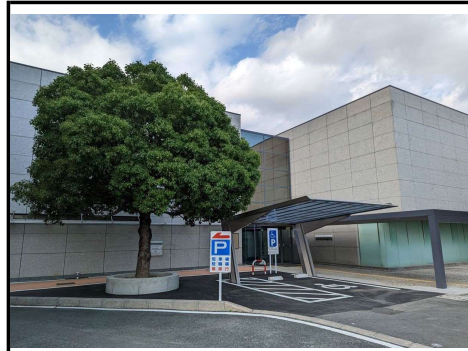


リストNo	06-001	施設コード	01861	
利用用途別分類(施設分類)	図書館			
施設名	中央図書館			
所在(町名・番地)	中区松城町214-21			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法			
条例	浜松市立図書館条例			
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)			
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00～19:00			
建物情報	総延床面積	5,162.61	土地面積 7,012.64	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.61		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1981/3/27		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	近隣商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	819,704	—	819,704
財源	国・県	240,000	—	240,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	434,700	—	434,700
	一般財源	145,004	—	145,004
特記事項	・大規模改修工事により、例年より運営に係る経費が増加			



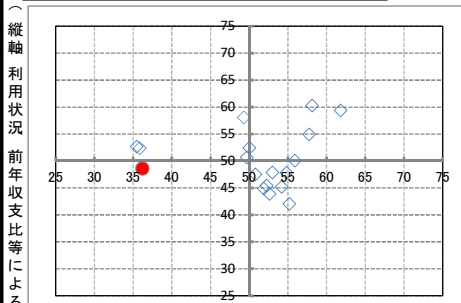
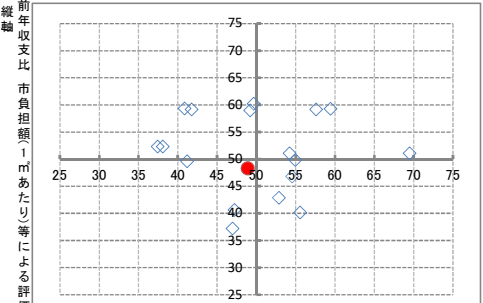
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	745	183	1,595
	収入計(A)	745	183	1,595
支出(千円)	人件費	284,896	254,040	272,436
	物件費(委託料)	12,016	6,751	14,855
	維持補修費(修繕費)	10,174	749	2,230
	物件費(光熱水費)	14,150	4,266	12,547
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	321,236	265,806	302,068
行政コスト(B-A)	320,491	265,623	300,473	
収支前年比	120.66	88.40	134.12	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	23,771	23,771	23,771	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	158,990	52,741	219,400
	開館日数/年	305	307	319
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	247,587	121,641	355,008
	蔵書数	273,109	265,756	266,521
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	622,553	190,172	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	大規模改修工事	1,112,370	2015	空調機省エネルギー化工事	3,132
2022	ユニバーサルデザイン化整備工事	10,685	2014	空調熱源設備改修工事	45,282
2016	中央監視装置更新工事	12,528	2014	LED照明導入工事	16,200
2016	屋外給水配管改修工事	7,776	2014	閉架書庫エアコン・冷却塔周り改修工事	10,962
2016	屋上防水改修工事	17,691	2013	昇降機更新工事	16,800
2016	貴重資料室空調設備更新工事	7,074	2013	2階南図書館系空調設備改修工事	9,870

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
06-004	南図書館	地域	1.6
同分類			
その他の分類			
01-001	本庁舎	市域	0.1
04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.2
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.3
04-009	美術館	市域	0.3
04-014	浜松復興記念館	地域	0.4
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.4
22-004	夜間救急室	市域	0.5
15-004	西小学校	生活	0.5

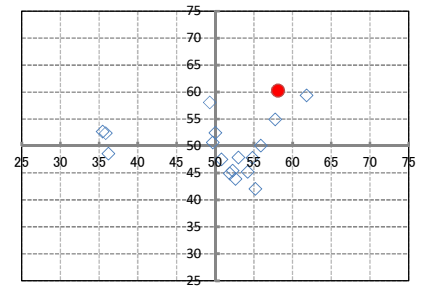
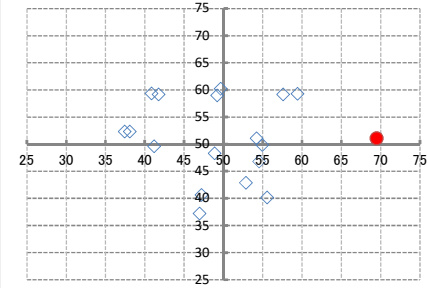


基本情報	リストNo	06-001	施設コード	01861	所管課	本庁	市民部中央図書館	
	施設名	中央図書館		施設	市民部中央図書館			
	人員数	正規職員(人)	32	会計年度任用職員(人)	17	再任用(人)	3	
複合施設								
関連政策名 知の拠点としての図書館機能の拡大								
施設運営分析	設置目的(再掲)							
	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)							
	主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど						
	主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)						
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項			図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	おはなし会・えほんとわらべうたの会 114回(2020年:30回、2021年:11回)	2022	—	不定数	786	
2021				—	不定数	77		
2020				—	不定数	291		
2022				2,153	不定数	699		
事業②		ブックスタート 99回(2020年:192回、2021年:61回)※事業費は全館分を記載	2021	2,083	不定数	454		
			2020	2,277	不定数	1,198		
事業③		郷土研究講座 4回(2020年:4回、2021年:5回)	2022	37	310	294		
			2021	88	255	193		
事業④		図書・新聞雑誌等資料収集	2020	28	80	80		
	2022		28,186	—	—			
		2021	18,456	—	—			
		2020	27,734	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	令和3年に大規模改修工事を行った。未改修部分の地下閉架書庫(空調設備、電動式移動棚、照明設備等)、屋外設備(駐車場管制機、外灯ポール、ベンチ等)は修繕の必要がある。						
	対応策	適切な維持管理に努めるため、必要に応じて修繕等を進める。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	62,079	51,451	58,202	1人当たりのコスト(円)	2,016	5,036	1,370
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	1,050,790	865,221	941,922
	1日当たり利用者(人)	521	172	688	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	90.7	45.8	133.2	1貸出冊当たりのコスト(円)	1,294	2,184	846
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。						
	利用用途別分類毎の方向性	また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施する。								



基本情報	リストNo	06-002	施設コード	01413	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	城北図書館			施設	市民部中央図書館	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。			
	特記事項			図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 24回(2020年:0回、2021年:0回)	2022	—	不定数	191	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	不定数	559	
事業②		ブックスタート 41回(2020年:34回、2021年:40回)	2021	—	不定数	618	
			2020	—	不定数	447	
			2022	—	—	—	
事業③		情報活用講座 0回(2020年:2回、2021年:1回)	2021	60	20	10	
			2020	30	60	16	
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2022	14,453	—	—		
		2021	13,335	—	—		
2020	14,296	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	平成18年の建築から17年が経過し、各設備の改修時期を迎えている。特に、ウッドデッキや屋上塗装等の老朽化が見られる。					
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努めるとともに、照明設備は他館の状況を含めて計画的にLED化工事を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
記入欄	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
	民活導入	2020年度から指定管理者制度を導入					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	22,710	22,475	23,192	1人当たりのコスト(円)	345	312	401
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	508,385	510,559	559,994
	1日当たり利用者(人)	1,476	1,638	1,396	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	100.8	118.6	90.9	1貸出冊当たりのコスト(円)	356	305	414
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別により必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、大規模な施設整備が必要となる時期には改修を実施する。								

リストNo	06-003	施設コード	01583	
利用用途別分類(施設分類)	図書館			
施設名	西図書館			
所在(町名・番地)	中区西伊場町2553-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法			
条例	浜松市立図書館条例			
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)			
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~			
管理者名	(株)図書館流通センター			
開館時間	9:00 ~ 18:00			
建物情報	総延床面積	1,326.00	土地面積 2,070.60	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.07		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1979/3/15		
	経過年数(主要建物)	44		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	139,746	—	139,746
財源	国・県	42,000	—	42,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	83,800	—	83,800
	一般財源	13,946	—	13,946
特記事項	—			



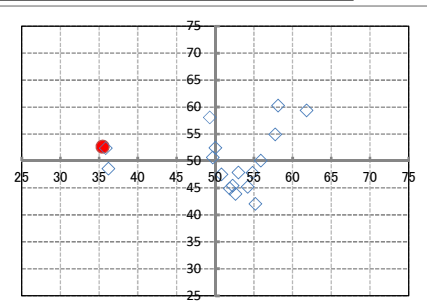
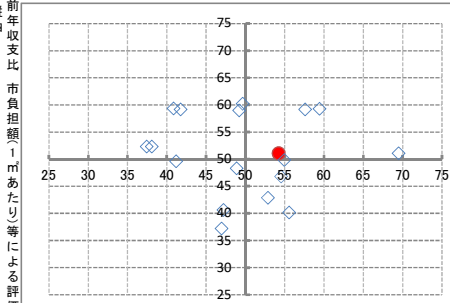
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	33	73	68
	収入計(A)	33	73	68
支出(千円)	人件費	23,392	22,181	22,805
	物件費(委託料)	1,608	1,625	1,867
	維持補修費(修繕費)	633	641	80
	物件費(光熱水費)	2,276	2,138	1,809
	物件費(借地料)	821	821	821
	支出計(B)	28,730	27,406	27,382
行政コスト(B-A)		28,697	27,333	27,314
収支前年比		104.99	100.07	100.21
(参考)指定管理料		28,000	27,225	27,225
(参考)減価償却費		5,003	5,003	5,003
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	99,620	109,390	83,381
	開館日数/年	298	299	274
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	200,668	226,141	162,337
	蔵書数	68,058	66,847	66,332
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	112,255	30,018	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2014	LED照明導入工事	5,152			
2007	空調改修工事	16,905			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-004	西ポンプ場	—	0.0
04-061	伊場遺跡	文化財	0.8
07-004	かものご放課後児童会	生活	0.9
15-014	鴨江小学校	生活	0.9
03-049	可美協働センター	生活	1.0
14-063	浜松第41分団	コミュニティ	1.0
10-010	ふれあい交流センター可美	地域	1.0
01-032	可美市民サービスセンター	生活	1.1



基本情報	リストNo	06-003	施設コード	01583	所管課	本庁	市民部中央図書館	
	施設名	西図書館		施設	市民部中央図書館			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)						
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、読書相談、簡易レファレンスサービスなど					
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		一定の利用者があり需要は確保されている。			—			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。			
		特記事項			図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定			
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	おはなし会・えほんとわらべうたの会 74回(2020年:0回、2021年:24回)	2022	—	不定数	424		
			2021	—	不定数	155		
			2020	—	—	—		
	事業②	ブックスタート 12回(2020年:9回、2021年:12回)	2022	—	不定数	99		
			2021	—	不定数	110		
			2020	—	不定数	83		
	事業③	調べ学習講座 0回(2020年:1回、2021年:1回) ※令和4年度は中央図書館にてオンライン講座を実施	2022	—	—	—		
			2021	—	10	10		
			2020	—	7	6		
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2022	3,607	—	—			
		2021	3,335	—	—			
		2020	3,495	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	昭和54年の建築から44年が経過し、市内で最も古い図書館となっている。経年劣化により外壁の塗装が剥げてきている。施設内外に更新前の空調設備機器が残されているため、撤去の必要がある。						
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努める。また、令和7年度の移転に向けた検討を進める。						
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管 管理主体変更 代替サービス 統廃合 複合化 広域化		—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者制度導入済							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	21,642	20,613	20,599	1人当たりのコスト(円)	288	250	328
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	96,299	91,415	99,686
	1日当たり利用者(人)	334	366	304	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	294.8	338.3	244.7	1貸出冊当たりのコスト(円)	143	121	168
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
築44年が経過しているため、令和7年度の移転に向けた検討を進める。								

リストNo	06-004	施設コード	02136
利用用途別分類(施設分類)	図書館		
施設名	南図書館		
所在(町名・番地)	中区海老塚二丁目25-17		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法		
条例	浜松市立図書館条例		
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)		
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	(株)図書館流通センター		
開館時間	9:00 ~ 18:00		
建物情報	総延床面積	982.33	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1992/3/17	
	経過年数(主要建物)	31	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	332,971	—	332,971
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	237,600	237,600
	一般財源	95,371	95,371
特記事項	—		



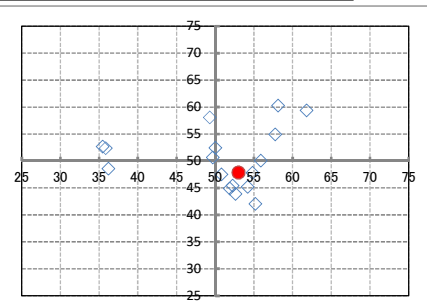
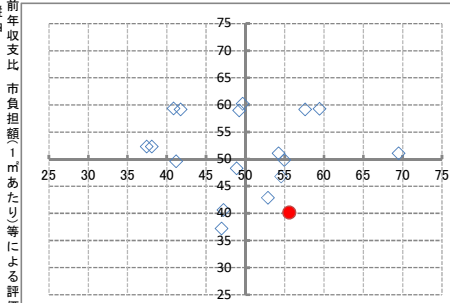
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	15	38	31
	収入計(A)	15	38	31
支出(千円)	人件費	64,144	61,924	79,903
	物件費(委託料)	6,315	5,858	6,678
	維持補修費(修繕費)	384	811	1,552
	物件費(光熱水費)	6,693	5,341	6,341
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	77,536	73,934	94,474
行政コスト(B-A)		77,521	73,896	94,443
収支前年比		104.91	78.24	102.48
(参考)指定管理料		76,346	76,346	101,970
(参考)減価償却費		7,059	7,059	7,059
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	85,325	94,252	76,521
	開館日数/年	298	299	275
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	158,768	173,784	140,210
	蔵書数	71,294	71,181	70,717
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	134,121	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2017	空調設備更新工事	12,960			
2016	外壁改修工事(協働センターと一括施工)	40,642			
2016	LED照明導入工事	6,475			
2011	屋上防水改修工事	4,673			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
06-001	中央図書館	市域	1.6
03-029	南部協働センター	生活	0.0
08-008	南保育園	生活	0.2
26-005	南ポンプ場	—	0.3
15-007	双葉小学校	生活	0.4
07-013	こだま放課後児童会	生活	0.4
15-105	南部中学校	生活	0.5
03-004	福祉交流センター	市域	0.6
01-010	海老塚事務所	地域	0.6



基本情報	リストNo	06-004	施設コード	02136	所管課	本庁	市民部中央図書館	
	施設名	南図書館		施設	市民部中央図書館			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
複合施設								
関連政策名 知の拠点としての図書館機能の拡大								
施設運営分析	設置目的(再掲)							
	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)							
	主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど						
	主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)						
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項			図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	おはなし会・えほんとわらべうたの会 56回(2020年:0回、2021年:20回)	2022	—	不定数	262	
2021				—	不定数	110		
2020				—	—	—		
事業②		ブックスタート 18回(2020年:21回、2021年:24回)	2022	—	不定数	171		
			2021	—	不定数	165		
			2020	—	不定数	152		
事業③		調べ学習講座 0回(2020年:0回、2021年:1回) ※令和4年度は中央図書館にてオンライン講座を実施	2022	—	—	—		
			2021	—	10	13		
			2020	—	—	—		
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2022	3,047	—	—			
		2021	2,795	—	—			
		2020	2,911	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	平成4年の改築から31年が経過し各設備の改修時期を迎えている。各設備の劣化状況等を把握し、計画的に更新を実施する必要がある。						
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努めるとともに、照明設備は他館の状況を含めて計画的にLED化工事を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	指定管理者制度導入済							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	78,915	75,225	96,142	1人当たりのコスト(円)	909	784	1,234
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	260,138	247,144	343,429
	1日当たり利用者(人)	286	315	278	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	222.7	244.1	198.3	1貸出冊当たりのコスト(円)	488	425	674
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービスボットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、併設の協働センターと調整の上、改修を検討する。								



リストNo	06-005	施設コード	02626	
利用用途別分類(施設分類)	図書館			
施設名	北図書館			
所在(町名・番地)	中区葵東一丁目106			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法			
条例	浜松市立図書館条例			
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)			
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	ヴィアックス・東海ビル管理共同事業体			
開館時間	9:00 ~ 18:00			
建物情報	総延床面積	1,352.53	土地面積 5,772.60	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1983/2/28		
	経過年数(主要建物)	40		
用途地域	工業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	274,520	—	274,520
財源	国・県	126,059	—	126,059
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	135,000	—	135,000
	一般財源	13,461	—	13,461
特記事項	—			



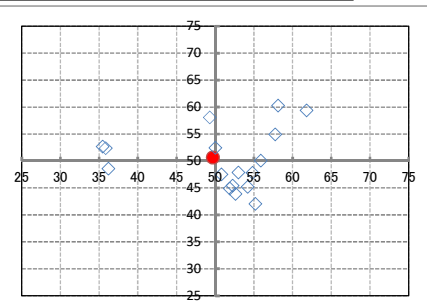
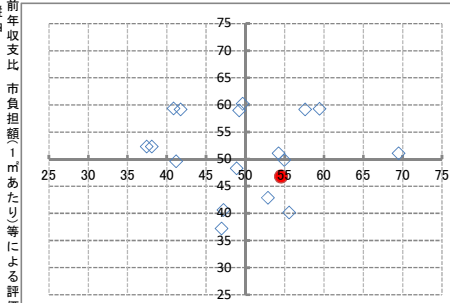
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	207	226	20
	収入計(A)	207	226	20
支出(千円)	人件費	48,894	48,807	0
	物件費(委託料)	4,737	4,593	0
	維持補修費(修繕費)	868	516	872
	物件費(光熱水費)	5,878	4,834	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	60,377	58,750	872	
行政コスト(B-A)		60,170	58,524	852
収支前年比		102.81	6869.01	270.48
(参考)指定管理料		59,834	59,724	0
(参考)減価償却費		7,741	7,741	7,741
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	102,931	103,443	89,622
	開館日数/年	298	299	276
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	230,549	241,383	210,815
	蔵書数	97,794	95,099	93,381
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	223,473	77,415	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2016	外壁・屋上防水改修工事	19,096			
2015	ガス管・給水管改修工事	9,418			
2015	LED照明導入工事	4,316			
2014	空調設備改修工事	42,539			
2013	ソーラーシステム撤去工事	2,919			
2011	空調設備改修工事	5,775			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-027	北部協働センター	生活	0.0
01-030	北部市民サービスセンター	生活	0.1
13-054	初生団地	地域	0.6
07-079	あおぞら放課後児童会	生活	0.7
15-011	葵が丘小学校	生活	0.7
03-067	葵が丘会館	コミュニティ	0.8
14-036	浜松第10分団	コミュニティ	1.2
15-102	開成中学校	生活	1.2



基本情報	リストNo	06-005	施設コード	02626	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	北図書館		施設	市民部中央図書館		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項		図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 35回(2020年:0回、2021年:10回)	2022	—	不定数	236	
			2021	—	不定数	91	
			2020	—	—	—	
			2022	—	不定数	217	
事業②		ブックスタート 24回(2020年:18回、2021年:24回)	2021	—	不定数	181	
			2020	—	不定数	183	
			2022	—	—	—	
事業③		調べ学習講座 0回(2020年:1回、2021年:1回) ※R4年度は中央図書館にてオンライン講座を実施	2021	—	10	10	
			2020	—	10	10	
	2022		4,778	—	—		
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2021	4,334	—	—		
		2020	4,614	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和58年の建築から40年が経過し、施設内の設備の老朽化が見られるため各設備の改修時期を迎えている。特に、雨漏りやクラック、タイル浮き等の修繕箇所が指摘されている。					
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努める。また、築40年が経過しているため、大規模改修について検討を進める。照明については、大規模改修時にLED化を進める。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者制度導入済						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	44,487	43,270	630	1人当たりのコスト(円)	585	566	10
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	201,913	195,732	3,087
	1日当たり利用者(人)	345	346	325	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	235.7	253.8	225.8	1貸出冊当たりのコスト(円)	261	242	4
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、併設の協働センターと調整の上、改修を検討する。								

リストNo	06-006	施設コード	01639	
利用用途別分類(施設分類)	図書館			
施設名	積志図書館			
所在(町名・番地)	東区積志町1816-4			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法			
条例	浜松市立図書館条例			
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)			
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~			
管理者名	ヴィアックス・東海ビル管理共同事業体			
開館時間	9:00 ~ 18:00			
建物情報	総延床面積	1,228.80	土地面積 1,065.81	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.81		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1980/3/15		
	経過年数(主要建物)	43		
用途地域	市街化調整区域			
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	147,408	—	147,408
	国・県	44,000	—	44,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
特記事項	市債	82,190	—	82,190
	一般財源	21,218	—	21,218



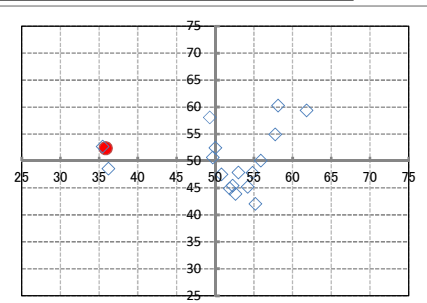
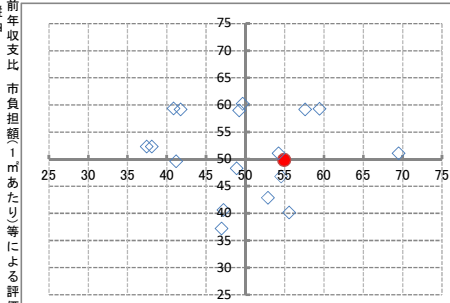
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	26	60	67
	収入計(A)	26	60	67
支出(千円)	人件費	24,687	23,524	23,666
	物件費(委託料)	2,018	1,660	1,535
	維持補修費(修繕費)	1,884	1,183	3,337
	物件費(光熱水費)	5,274	4,775	3,717
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	33,863	31,142	32,255
行政コスト(B-A)		33,837	31,082	32,188
収支前年比		108.86	96.56	108.90
(参考)指定管理料		32,134	30,156	30,156
(参考)減価償却費		4,776	4,776	4,776
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	97,247	101,877	94,631
	開館日数/年	296	295	275
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	213,381	220,997	197,358
	蔵書数	77,260	76,992	76,828
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	47,149	33,432	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	屋上屋根改修工事	13,406			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	03-035	積志協働センター	生活	0.0
	15-029	積志小学校	生活	0.5
	07-025	ひまわり放課後児童会	生活	0.5
	14-046	浜松第34分団	コミュニティ	0.6
	15-112	積志中学校	生活	0.6
	08-011	積志保育園	生活	0.6
	08-032	橋爪幼稚園	生活	0.7
	24-007	半田揚水機場	—	1.0



基本情報	リストNo	06-006	施設コード	01639	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	積志図書館		施設	市民部中央図書館		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、読書相談、簡易レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。			
	特記事項			図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 43回(2020年:0回、2021年:6回)	2022	—	不定数	181	
			2021	—	不定数	26	
			2020	—	—	—	
			2022	—	不定数	280	
事業②		ブックスタート 48回(2020年:38回、2021年:48回)	2021	—	不定数	289	
			2020	—	不定数	295	
			2022	—	—	—	
事業③		調べ学習講座 0回(2020年:1回、2021年:1回) ※R4年度は中央図書館にてオンラインで実施	2021	—	10	10	
			2020	—	7	8	
	2022		4,509	—	—		
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2021	3,902	—	—		
		2020	4,263	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和55年の建築から43年が経過し、施設内の設備の老朽化が見られるため各設備の改修時期を迎えている。特に、消防設備経年劣化、クラック、タイル浮き等の修繕の必要がある。					
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努める。また、築43年が経過しているため、大規模改修について検討を進める。照明については、大規模改修時にLED化を進める。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者制度導入済						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	27,537	25,295	26,195	1人当たりのコスト(円)	348	305	340
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	114,314	105,363	117,047
	1日当たり利用者(人)	329	345	344	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	276.2	287.0	256.9	1貸出冊当たりのコスト(円)	159	141	163
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館閉館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、併設の協働センターと調整の上、改修を検討する。								

リストNo	06-007	施設コード	02071	
利用用途別分類(施設分類)	図書館			
施設名	東図書館			
所在(町名・番地)	東区子安町309-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法			
条例	浜松市立図書館条例			
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)			
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	(株)図書館流通センター			
開館時間	9:00 ~ 18:00			
建物情報	総延床面積	1,160.32	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1982/2/28		
	経過年数(主要建物)	41		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	189,965	—	189,965
財源	国・県	52,000	—	52,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	123,500	—	123,500
	一般財源	14,465	—	14,465
特記事項	—			



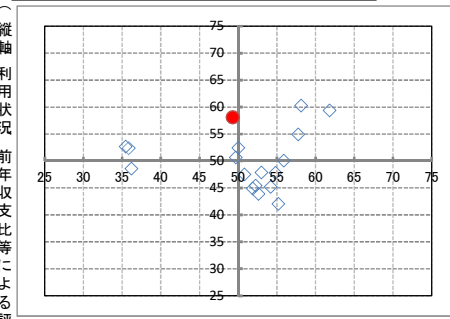
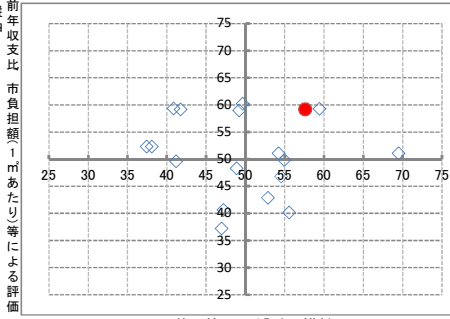
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	16	19	9
	収入計(A)	16	19	9
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	8	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	650
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	8	0	650	
行政コスト(B-A)		-8	-19	641
収支前年比		42.11	-2.96	70.99
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,395	5,395	5,395
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	106,245	113,845	93,674
	開館日数/年	298	299	273
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	204,017	213,718	175,224
	蔵書数	82,230	81,167	81,423
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	48,555	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	LED照明導入工事	4,583			
2012	空調設備改修工事(電気設備)	5,489			
2012	空調設備改修工事(機械設備)	22,041			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-031	蒲協働センター	生活	0.0
07-027	ポプラの子放課後児童会	生活	0.6
15-028	蒲小学校	生活	0.6
05-003	浜松アリーナ	広域	0.8
03-077	江東会館	コミュニティ	0.8
13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.8
14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.9
13-047	飯田団地	地域	1.1



基本情報	リストNo	06-007	施設コード	02071	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	東図書館		施設	市民部中央図書館		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項		図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 36回(2020年:0回、2021年:14回)	2022	—	不定数	256	
			2021	—	不定数	111	
			2020	—	—	—	
			2022	—	不定数	258	
事業②		ブックスタート 31回(2020年:28回、2021年:35回)	2021	—	不定数	296	
			2020	—	不定数	240	
			2022	—	—	—	
事業③		調べ学習講座 0回(2020年:1回、2021年:1回) ※R4年度は中央図書館にてオンライン講座を実施	2021	—	10	10	
			2020	—	10	7	
	2022		4,341	—	—		
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2021	3,855	—	—		
		2020	4,314	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和57年の建築から41年が経過し、施設内の設備の老朽化が見られるため各設備の改修時期を迎えている。外壁シーリング工事等、老朽化に伴う修繕が年々増加している。					
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努める。また、築41年が経過しているため、大規模改修について検討を進める。照明については、大規模改修時にLED化を進める。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	民活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
民活導入	指定管理者制度導入済						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-7	-16	552	1人当たりのコスト(円)	0	0	7
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	-27	-64	2,348
	1日当たり利用者(人)	357	381	343	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	248.1	263.3	215.2	1貸出冊当たりのコスト(円)	0	0	4
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、併設の協働センターと調整の上、改修を検討する。</p>								

リストNo	06-008	施設コード	02459		
利用用途別分類(施設分類)	図書館				
施設名	舞阪図書館・郷土資料館				
所在(町名・番地)	西区舞阪町舞阪2668-56				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美		
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美		
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法				
条例	浜松市立図書館条例				
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)				
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~				
管理者名	特定非営利活動法人ふくろうの森委員会・東海ビル管理(株)共同グループ				
開館時間	9:00 ~ 18:00				
建物情報	総延床面積	2,108.76	土地面積	2,847.99	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	2,847.99
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1990/3/10			
	経過年数(主要建物)	33			
用途地域	第一種住居地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
	358,538	—	358,538		
財源	国・県	68,636	—	68,636	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	289,902	—	289,902	
特記事項	—				



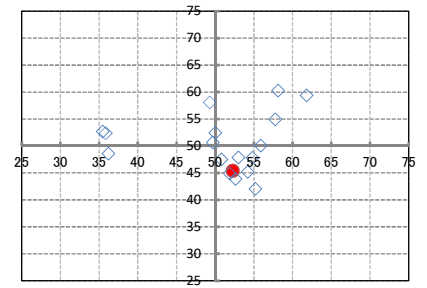
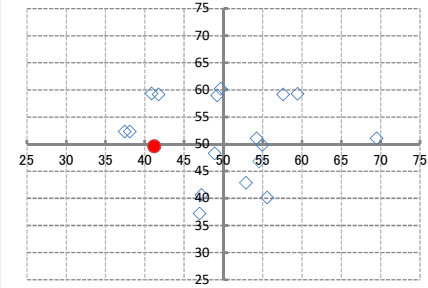
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	13	87	17
	収入計(A)	13	87	17
支出(千円)	人件費	43,534	42,746	40,512
	物件費(委託料)	5,524	5,428	250
	維持補修費(修繕費)	1,464	1,255	1,671
	物件費(光熱水費)	10,728	9,000	7,838
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	61,250	58,429	50,271	
行政コスト(B-A)		61,237	58,342	50,254
収支前年比		104.96	116.09	97.68
(参考)指定管理料		63,657	63,657	63,657
(参考)減価償却費		8,620	8,620	8,647
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	44,399	44,760	40,415
	開館日数/年	298	299	275
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	61,369	65,993	59,393
	蔵書数	67,631	66,529	66,644
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	111,800	146,533	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2014	舞阪図書館空調設備改修工事	13,910			
2013	舞阪郷土資料館空調設備改修工事	5,650			
2012	舞阪図書館空調設備改修工事	13,650			
2011	空調設備改修工事	3,519			
2008	外壁等タイル修繕工事	3,203			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類			
その他の分類	05-010	舞阪総合体育館	地域 0.1
	10-008	ふれあい交流センター舞阪	地域 0.1
	15-118	舞阪中学校	生活 0.2
	08-036	舞阪幼稚園	生活 0.3
	08-016	舞阪第2保育園	生活 0.4
	13-027	今切団地	地域 0.5
	04-037	舞坂宿脇本陣	文化財 0.7
	13-033	第2浜表団地	地域 0.7



基本情報	リストNo	06-008	施設コード	02459	所管課	本庁	市民部中央図書館	
	施設名	舞阪図書館・郷土資料館		施設	市民部中央図書館			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	舞阪郷土資料館						
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)						
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど					
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。					
	特記事項		図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 9回(2020年:0回、2021年:4回)	2022	—	不定数	44		
			2021	—	不定数	14		
			2020	—	—	—		
			2022	—	不定数	59		
事業②		ブックスタート 15回(2020年:13回、2021年:15回)	2021	—	不定数	60		
			2020	—	不定数	64		
			2022	—	—	—		
事業③		調べ学習講座 0回(2020年:1回、2021年:1回) ※R4年度は中央図書館にてオンライン講座を実施	2021	—	16	16		
			2020	—	10	10		
	2022		1,993	—	—			
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2021	1,822	—	—			
		2020	1,842	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成2年の建築から33年が経過し、各設備の改修時期を迎えている。特に、定期点検では、エレベータ及び受変電設備の経年劣化を指摘されている。						
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努める。また令和5年度に受変電設備の改修、令和6年度に照明設備のLED化の工事を予定している。						
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	指定管理者制度導入済							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	29,039	27,666	23,831	1人当たりのコスト(円)	1,379	1,303	1,243
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	205,493	195,124	182,742
	1日当たり利用者(人)	149	150	147	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	90.7	99.2	89.1	1貸出冊当たりのコスト(円)	998	884	846
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>平成28年度の都田図書館閉館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、大規模な施設整備が必要となる時期には改修、複合化、小規模化、統廃合等を検討する。</p>								



リストNo	06-009	施設コード	02751	
利用用途別分類(施設分類)	図書館			
施設名	雄踏図書館			
所在(町名・番地)	西区雄踏町宇布見8275-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法			
条例	浜松市立図書館条例			
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)			
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~			
管理者名	特定非営利活動法人ふくろうの森委員会・東海ビル管理(株)共同グループ			
開館時間	9:00 ~ 18:00			
建物情報	総延床面積	1,568.82	土地面積 3,124.92	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1998/3/10		
	経過年数(主要建物)	25		
用途地域	第二種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	525,013	—	525,013	
財源	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	313,200	—	313,200
	一般財源	211,813	—	211,813
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	9	9	9
	収入計(A)	9	9	9
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	48	0	0
	維持補修費(修繕費)	5,663	1,214	2,365
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	209	213	209
支出計(B)	5,920	1,427	2,574	
行政コスト(B-A)		5,911	1,418	2,565
収支前年比		416.85	55.28	74.50
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		15,323	15,323	15,323
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	69,867	76,623	69,296
	開館日数/年	297	299	274
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	139,318	153,528	131,200
	蔵書数	69,471	70,033	69,285
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	135,602	183,946	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	空調熱源設備改修工事	39,248			
2016	省エネルギー化改修工事	2,679			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-034	雄踏なかよし第1放課後児童会	生活	0.3
15-047	雄踏小学校	生活	0.3
04-036	重要文化財中村家住宅	文化財	0.3
03-011	雄踏文化センター	地域	0.3
13-038	領家団地	地域	0.5
18-005	旧雄踏総合事務所別館	地域	0.5
08-017	雄踏保育園	生活	0.6
15-122	雄踏中学校	生活	0.6



基本情報	リストNo	06-009	施設コード	02751	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	雄踏図書館		施設	市民部中央図書館		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。			
	特記事項			図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 24回(2020年:0回、2021年:9回)	2022	—	不定数	100	
			2021	—	不定数	29	
			2020	—	—	—	
			2022	—	不定数	153	
事業②		ブックスタート 39回(2020年:38回、2021年:40回)	2021	—	不定数	162	
			2020	—	不定数	190	
			2022	—	—	—	
事業③		調べ学習講座 0回(2020年:1回、2021年:1回) ※R4年度は中央図書館にてオンライン講座を実施	2021	—	8	8	
			2020	—	8	8	
	2022		2,973	—	—		
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2021	2,790	—	—		
		2020	2,840	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成10年の改築から25年が経過し、各設備の改修時期を迎えている。特に、床タイルに亀裂があることが発見され、現在原因・状況を調査している。					
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努めるとともに、照明設備は他館の状況を含めて計画的にLED化工事を実施していく。令和5年度に講座室と地下閉架書庫の空調改修工事が完了予定。また、床タイルの亀裂については、調査結果に基づき修繕の検討を進める。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者制度導入済						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,768	904	1,635	1人当たりのコスト(円)	85	19	37
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	19,902	4,742	9,361
	1日当たり利用者(人)	235	256	253	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	200.5	219.2	189.4	1貸出冊当たりのコスト(円)	42	9	20
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館閉館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、大規模な施設整備が必要となる時期には改修、複合化、小規模化、統廃合等を検討する。</p>								

リストNo	06-010	施設コード	00110		
利用用途別分類(施設分類)	図書館				
施設名	はまゆう図書館				
所在(町名・番地)	西区大人見町1750-394				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美		
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美		
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法				
条例	浜松市立図書館条例				
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)				
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~				
管理者名	ヴィアックス・東海ビル管理共同事業体				
開館時間	9:00 ~ 19:00				
建物情報	総延床面積	2,258.94	土地情報		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地面積	10,109.69
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積	10,109.69
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—		代表地目(現況地目)	宅地
	建築年月日(主要建物)	2004/5/31			
	経過年数(主要建物)	18			
用途地域	市街化調整区域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
設置事業費	754,588	—	754,588		
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	608,000	—	608,000	
	一般財源	146,588	—	146,588	
特記事項	—				



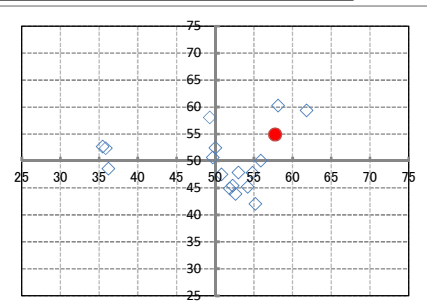
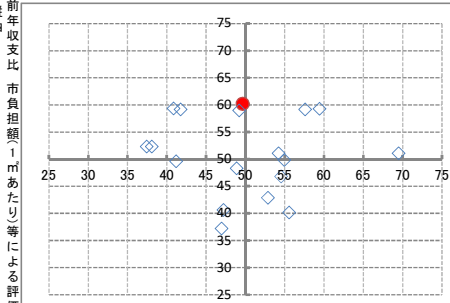
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	28	31	22
	収入計(A)	28	31	22
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	8	0	0
	維持補修費(修繕費)	891	5,251	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	899	5,251	0	
行政コスト(B-A)		871	5,220	-22
収支前年比		16.69	-23727.27	-0.54
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		15,846	15,846	15,846
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	124,760	134,567	117,015
	開館日数/年	344	344	319
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	196,186	214,879	196,634
	蔵書数	82,043	81,652	82,422
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	373,279	507,083	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2017	吊り天井落下防止対策工事	48,279			
2013	BEMS導入工事	3,151			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
03-039	伊佐見協働センター	生活	0.7	
07-036	伊佐見放課後児童会	生活	0.7	
08-033	伊佐見幼稚園	生活	0.7	
14-049	浜松第36分団	コミュニティ	0.8	
15-041	伊佐見小学校	生活	0.8	
24-010	佐浜第1排水機場	—	1.1	
20-005	西部衛生工場神原ポンプ場	地域	1.1	
03-037	神久呂協働センター	生活	1.2	



基本情報	リストNo	06-010	施設コード	00110	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	はまゆう図書館		施設	市民部中央図書館		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項		図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 59回(2020年:0回、2021年:18回)	2022	—	不定数	258	
			2021	—	不定数	94	
			2020	—	—	—	
			2022	—	不定数	266	
事業②	ブックスタート 41回(2020年:37回、2021年:45回)	2021	—	不定数	269		
		2020	—	不定数	268		
		2022	—	25	21		
事業③	調べ学習講座 1回(2020年:1回、2021年:2回)	2021	—	40	29		
		2020	—	10	8		
		2022	6,449	—	—		
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2021	5,912	—	—		
		2020	6,404	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	平成16年の建築から18年が経過し、各設備の改修時期を迎えている。特に、外壁の塗装やシーリング劣化に対する修繕の必要がある。					
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努める。また、空調設備については、計画的に改修工事を実施していく。照明設備のLED化工事については、令和6年度に工事を予定している。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者制度導入済						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	386	2,311	-10	1人当たりのコスト(円)	7	39	0
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	2,532	15,174	-69
	1日当たり利用者(人)	363	391	367	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	239.1	263.2	238.6	1貸出冊当たりのコスト(円)	4	24	0
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、大規模な施設整備が必要となる時期には改修、複合化、小規模化、統廃合等を検討する。</p>								

リストNo	06-011	施設コード	02152	
利用用途別分類(施設分類)	図書館			
施設名	南陽図書館			
所在(町名・番地)	南区下江町462			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法			
条例	浜松市立図書館条例			
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)			
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	(株)図書館流通センター			
開館時間	9:00 ~ 18:00			
建物情報	総延床面積	1,109.76	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1984/3/13		
	経過年数(主要建物)	39		
用途地域	市街化調整区域			
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	225,681	—	225,681
	国・県	55,912	—	55,912
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	131,200	—	131,200
一般財源	38,569	—	38,569	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	19	17	11
	収入計(A)	19	17	11
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	1,100	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,100	0	0	
行政コスト(B-A)		1,081	-17	-11
収支前年比		-6358.82	154.55	-1.61
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		6,454	6,454	6,454
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	64,686	67,455	56,435
	開館日数/年	298	299	274
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	115,447	123,981	106,597
	蔵書数	58,270	63,110	63,633
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	71,000	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

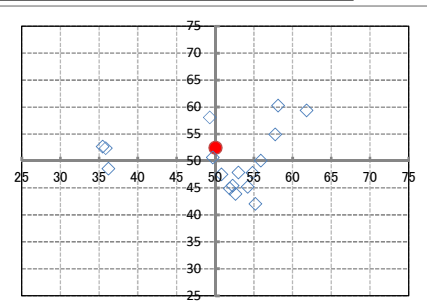
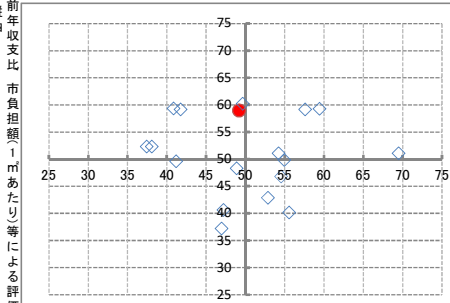
  

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-045	南陽協働センター	生活	0.0
15-124	東陽中学校	生活	0.5
14-018	南消防署芳川出張所	地域	0.6
24-024	御給排水機場	—	0.6
14-060	浜松第18分団	コミュニティ	1.0
15-049	河輪小学校	生活	1.1
07-047	かわわ放課後児童会	生活	1.1
14-062	浜松第26分団	コミュニティ	1.3

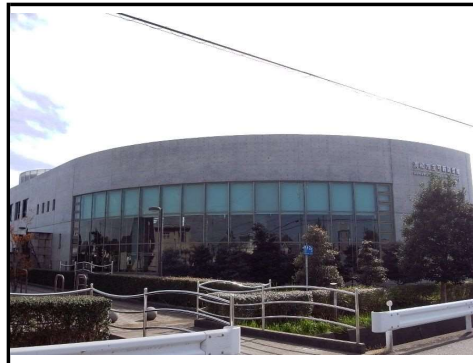
  

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	06-011	施設コード	02152	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	南陽図書館		施設	市民部中央図書館		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項		図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 33回(2020年:0回、2021年:11回)	2022	—	不定数	137	
			2021	—	不定数	59	
			2020	—	—	—	
			2022	—	不定数	114	
事業②		ブックスタート 22回(2020年:16回、2021年:23回)	2021	—	不定数	151	
			2020	—	不定数	154	
			2022	—	—	—	
事業③		調べ学習講座 0回(2020年:0回、2021年:1回) ※R4年度は中央図書館にてオンライン講座を実施	2021	—	8	9	
			2020	—	8	8	
	2022		2,786	—	—		
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2021	2,582	—	—		
		2020	2,683	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和59年の建築から39年が経過し、施設内の設備の老朽化が見られるため各設備の改修時期を迎えている。館内においては、机・床・書架等の老朽化や劣化箇所が複数見られる。					
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努める。また、築39年が経過しているため、大規模改修について検討を進める。照明については、大規模改修時にLED化を進める。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者制度導入済						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	974	-15	-10	1人当たりのコスト(円)	17	0	0
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	3,628	-57	-40
	1日当たり利用者(人)	217	226	206	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	198.1	196.5	167.5	1貸出冊当たりのコスト(円)	9	0	0
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、併設の協働センターと調整の上、改修を検討する。								

リストNo	06-012	施設コード	00377			
利用用途別分類(施設分類)	図書館					
施設名	可新図書館					
所在(町名・番地)	南区小沢渡町1142-1					
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美			
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美			
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法					
条例	浜松市立図書館条例					
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)					
運営形態	指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~					
管理者名	ヴィアックス・東海ビル管理共同事業体					
開館時間	9:00 ~ 18:00					
建物情報	総延床面積	1,349.23	土地面積	3,657.00		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	3,657.00	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1997/1/31				
	経過年数(主要建物)	26				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
設置事業費	505,658	—	505,658			
財源	国・県	143,000	—	143,000		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	288,750	—	288,750		
	一般財源	73,908	—	73,908		
特記事項	—					



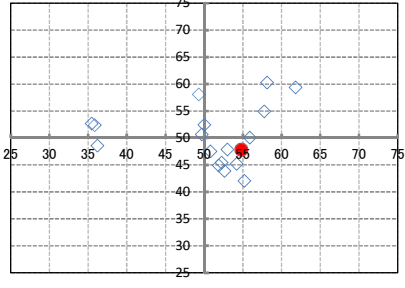
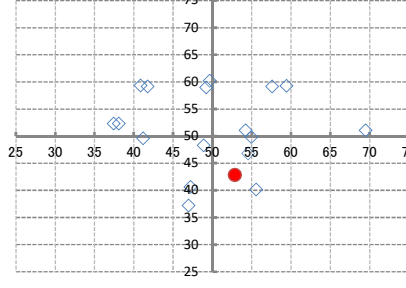
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	541	611	628
	収入計(A)	541	611	628
支出(千円)	人件費	65,657	65,215	65,434
	物件費(委託料)	8,512	8,162	1,582
	維持補修費(修繕費)	793	1,542	684
	物件費(光熱水費)	13,903	11,782	10,475
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	88,865	86,701	78,175	
行政コスト(B-A)		88,324	86,090	77,547
収支前年比		102.59	111.02	100.86
(参考)指定管理料		86,235	86,147	86,235
(参考)減価償却費		10,315	10,315	10,315
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	93,974	86,141	88,045
	開館日数/年	298	272	276
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	174,699	167,502	170,679
	蔵書数	81,497	79,875	79,162
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	262	247,570	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	吊り天井落下防止対策工事	45,861			
2021	空調設備更新工事	51,612			
2018	外壁改修工事	14,466			
2018	屋根防水工事	9,496			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
13-045	小沢渡団地	地域	0.4
26-032	浜名中継ポンプ場	—	0.5
23-094	高塚駅南北自由通路	地域	0.7
15-125	可美中学校	生活	0.9
05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域	1.2
08-041	可美幼稚園	生活	1.2
10-010	ふれあい交流センター可美	地域	1.3
07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活	1.4



基本情報	リストNo	06-012	施設コード	00377	所管課	本庁	市民部中央図書館	
	施設名	可新図書館		施設	市民部中央図書館			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
複合施設								
関連政策名 知の拠点としての図書館機能の拡大								
施設運営分析	設置目的(再掲)							
	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)							
	主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど						
	主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)						
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項			図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	おはなし会・えほんとわらべうたの会 53回(2020年:0回、2021年:18回)	2022	—	不定数	334	
2021				—	不定数	110		
2020				—	—	—		
2022				—	不定数	265		
事業②		ブックスタート 45回(2020年:54回、2021年:51回)	2021	—	不定数	288		
			2020	—	不定数	328		
			2022	—	12	13		
事業③		調べ学習講座 1回(2020年:1回、2021年:1回)	2021	—	10	9		
			2020	—	8	5		
	2022		3,991	—	—			
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2021	3,686	—	—			
		2020	4,050	—	—			
		2022	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	平成9年の建築から26年が経過しており、各設備の改修時期を迎えている。各設備の劣化状況等を把握し、計画的に更新を実施する必要がある。						
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努める。照明設備のLED化工事については、令和6年度に工事を予定している。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	指定管理者制度導入済							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	65,463	63,807	57,475	1人当たりのコスト(円)	940	999	881	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	296,389	316,507	280,967	
	1日当たり利用者(人)	315	317	319	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	214.4	209.7	215.6	1貸出冊当たりのコスト(円)	506	514	454	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当館は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、大規模な施設整備が必要となる時期には改修、複合化、小規模化、統廃合等を検討する。									



リストNo	06-013	施設コード	00247			
利用用途別分類(施設分類)	図書館					
施設名	引佐図書館					
所在(町名・番地)	北区引佐町井伊谷610-2					
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美			
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美			
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法					
条例	浜松市立図書館条例					
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)					
運営形態	指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~					
管理者名	TRC・遠鉄アシスト共同事業体					
開館時間	9:00 ~ 18:00					
建物情報	総延床面積	1,070.10	土地面積	1,499.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	1,499.00	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1986/3/5				
	経過年数(主要建物)	37				
用途地域	第一種住居地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



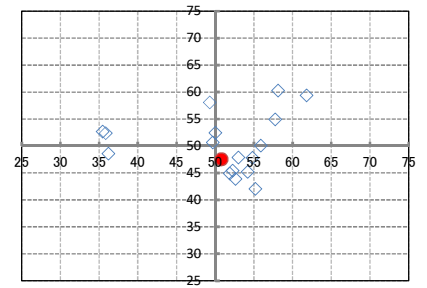
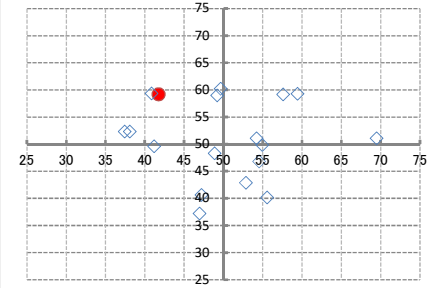
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	16	19	19
	収入計(A)	16	19	19
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	64	0	0
	維持補修費(修繕費)	363	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	427	0	0	
行政コスト(B-A)		411	-19	-19
収支前年比		-2163.16	100.00	73.08
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		13,157	13,157	13,157
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	30,034	29,264	29,617
	開館日数/年	298	299	275
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	55,580	56,142	52,734
	蔵書数	76,613	75,680	75,804
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	36,531	488	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	外壁・屋根改修工事	18,557			
2021	照明設備LED化工事	6,281			
2015	空調設備改修工事	22,098			
2013	閲覧室空調設備改修工事	8,925			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-014	引佐多目的研修センター	地域	0.1
01-019	引佐協働センター	地域	0.1
18-007	引佐文化財収蔵庫	地域	0.2
04-057	浜松市地域遺産センター	地域	0.2
08-019	引佐保育園	生活	0.2
15-066	井伊谷小学校	生活	0.3
08-048	引佐幼稚園	生活	0.3
14-072	引佐第1分団井伊谷	コミュニティ	0.4



基本情報	リストNo	06-013	施設コード	00247	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	引佐図書館		施設	市民部中央図書館		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項		図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 0回(2020年:0回、2021年:0回)	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		ブックスタート 11回(2020年:8回、2021年:11回)	2022	—	不定数	48	
			2021	—	不定数	70	
			2020	—	不定数	65	
事業③		調べ学習講座 0回(2020年:1回、2021年:1回) ※R4年度は中央図書館にてオンライン講座を実施	2022	—	—	—	
			2021	—	10	11	
			2020	—	7	7	
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2022	2,267	—	—		
		2021	1,881	—	—		
		2020	2,018	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和61年の建築から37年が経過し、施設内の設備の老朽化が見られるため各設備の改修時期を迎えている。					
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努めるとともに、照明設備は他館の状況を含めて計画的にLED化工事を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者制度導入済						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	384	-18	-18	1人当たりのコスト(円)	14	-1	-1
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	1,379	-64	-69
	1日当たり利用者(人)	101	98	108	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	72.5	74.2	69.6	1貸出冊当たりのコスト(円)	7	0	0
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。 また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。 また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、大規模な施設整備が必要となる時期には改修、複合化、小規模化、統廃合等を検討する。</p>								

リストNo	06-014	施設コード	00971			
利用用途別分類(施設分類)	図書館					
施設名	三ヶ日図書館					
所在(町名・番地)	北区三ヶ日町字志799-1					
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美			
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美			
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法					
条例	浜松市立図書館条例					
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)					
運営形態	指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~					
管理者名	TRC・遠鉄アシスト共同事業体					
開館時間	9:00 ~ 18:00					
建物情報	総延床面積	1,879.00	土地面積	10,115.96		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	9,285.96	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	830.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1999/9/30				
	経過年数(主要建物)	23				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	640,778	—	640,778		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	6,930	—	6,930		
	市債	446,200	—	446,200		
一般財源	187,648	—	187,648			
特記事項	—					



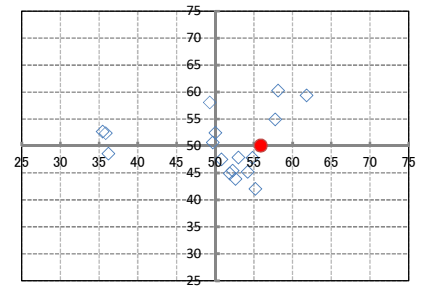
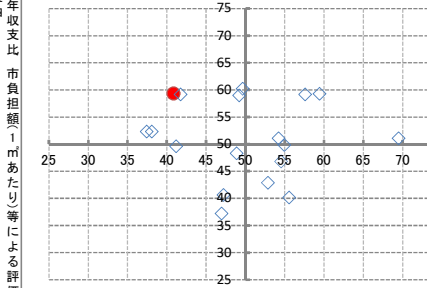
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	49	49	51
	収入計(A)	49	49	51
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	364	139	139
	維持補修費(修繕費)	1,085	4,679	1,375
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	97	97	97
支出計(B)	1,546	4,915	1,611	
行政コスト(B-A)		1,497	4,866	1,560
収支前年比		30.76	311.92	838.71
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		19,550	19,550	19,550
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	39,001	39,350	31,443
	開館日数/年	298	299	275
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	58,033	58,220	49,031
	蔵書数	86,597	86,024	84,826
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	421,424	274,427	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	空調設備更新工事	48,245			
2018	空調設備更新工事	16,200				

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
10-015	三ヶ日総合福祉センター	地域	0.1	
21-003	三ヶ日斎場	地域	0.1	
13-055	小深田団地	地域	0.2	
14-081	三ヶ日第1分団	コミュニティ	0.2	
14-020	北消防署三ヶ日出張所	地域	0.4	
03-013	三ヶ日文化ホール	地域	0.4	
01-018	三ヶ日協働センター	地域	0.4	
15-068	三ヶ日西小学校	生活	0.5	



基本情報	リストNo	06-014	施設コード	00971	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	三ヶ日図書館			施設	市民部中央図書館	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項		図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 10回(2020年:0回、2021年:3回)	2022	—	不定数	35	
			2021	—	不定数	8	
			2020	—	—	—	
事業②		ブックスタート 12回(2020年:15回、2021年:11回)	2022	—	不定数	38	
			2021	—	不定数	37	
			2020	—	不定数	55	
事業③		図書・新聞雑誌等資料収集	2022	2,578	—	—	
			2021	2,468	—	—	
			2020	2,445	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成11年の建築から23年が経過し、各設備の改修時期を迎えている。特に、バルコニー屋根のガラスの劣化が進んでおり修繕の必要がある。					
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努めるとともに、照明設備は他館の状況を含めて計画的にLED化工事を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者制度導入済						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	797	2,590	830	1人当たりのコスト(円)	38	124	50
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	5,023	16,274	5,673
	1日当たり利用者(人)	131	132	114	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	67.0	67.7	57.8	1貸出冊当たりのコスト(円)	26	84	32
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、大規模な施設整備が必要となる時期には改修、複合化、小規模化、統廃合等を検討する。</p>								

リストNo	06-015	施設コード	00933	
利用用途別分類(施設分類)	図書館			
施設名	細江図書館			
所在(町名・番地)	北区細江町気賀4574-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法			
条例	浜松市立図書館条例			
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)			
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~			
管理者名	TRC・遠鉄アシスト共同事業体			
開館時間	9:00 ~ 18:00			
建物情報	総延床面積	1,396.69	土地面積 7,208.43	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1990/8/25		
	経過年数(主要建物)	32		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	510,552	—	510,552
財源	国・県	84,000	—	84,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	426,552	—	426,552
特記事項	—			



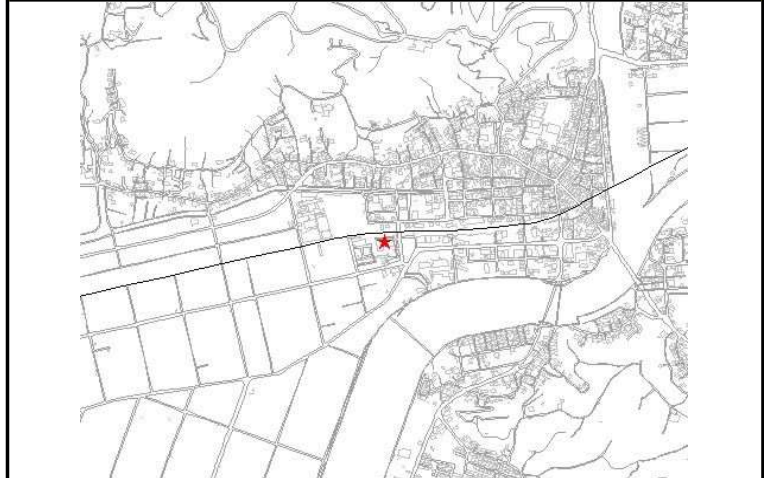
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	165	337	333
	収入計(A)	165	337	333
支出(千円)	人件費	84,589	84,273	84,453
	物件費(委託料)	9,065	8,765	9,106
	維持補修費(修繕費)	472	3,199	1,105
	物件費(光熱水費)	13,090	10,955	10,275
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	107,216	107,192	104,939
行政コスト(B-A)	107,051	106,855	104,606	
収支前年比	100.18	102.15	101.99	
(参考)指定管理料	107,062	107,062	107,454	
(参考)減価償却費	11,538	11,538	11,538	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	75,691	79,424	69,034
	開館日数/年	343	343	317
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	112,815	115,806	104,892
	蔵書数	130,265	129,813	128,834
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	187,718	207,693	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	照明設備LED化工事	13,608			
2015	空調設備改修工事	65,669			
2014	ユニバーサルデザイン化整備工事	3,726			
2013	外壁・屋上防水改修工事	12,131			

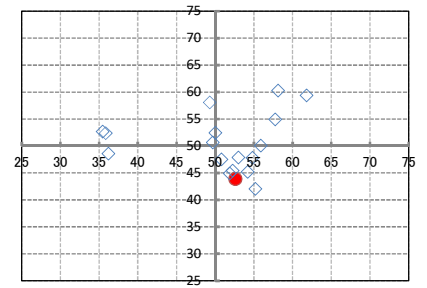
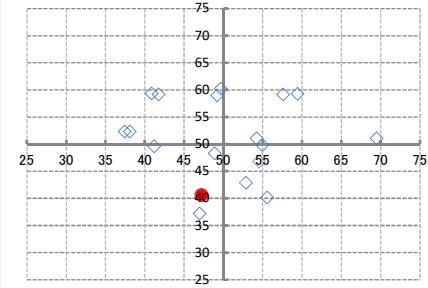
  

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-024	気賀関所	地域	0.0
10-014	細江介護予防センター	地域	0.1
04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.1
03-012	みをつくし文化センター	地域	0.1
01-017	北区役所	地域	0.2
09-006	細江健康センター	地域	0.2
08-053	中央幼稚園	生活	0.2
15-129	細江中学校	生活	0.3

施設周辺地図情報	
	

基本情報	リストNo	06-015	施設コード	00933	所管課	本庁	市民部中央図書館	
	施設名	細江図書館				施設	市民部中央図書館	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)						
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど					
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用者があり需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。							
	特記事項 図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	おはなし会・えほんとわらべうたの会 50回(2020年:0回、2021年:17回)	2022	—	不定数	255		
			2021	—	不定数	85		
			2020	—	—	—		
			2022	—	不定数	133		
	事業②	ブックスタート 21回(2020年:18回、2021年:17回)	2021	—	不定数	124		
			2020	—	不定数	126		
			2022	—	30	31		
	事業③	調べ学習講座 1回(2020年:1回、2021年:2回)	2021	—	30	16		
			2020	—	15	15		
2022			4,896	—	—			
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2021	4,686	—	—			
		2020	4,684	—	—			
		施設に関する課題等(ハード面から)						
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	平成2年の改築から32年が経過し、各設備の改修時期を迎えている。特に、外壁及び屋上防水改修工事の必要がある。						
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努めるとともに、照明設備は他館の状況を含めて計画的にLED化工事を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	指定管理者制度導入済							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	76,646	76,506	74,896	1人当たりのコスト(円)	1,414	1,345	1,515
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	312,102	311,531	329,987
	1日当たり利用者(人)	221	232	218	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	86.6	89.2	81.4	1貸出冊当たりのコスト(円)	949	923	997
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館開館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、大規模な施設整備が必要となる時期には改修、複合化、小規模化、統廃合等を検討する。								

リストNo	06-016	施設コード	00883	
利用用途別分類(施設分類)	図書館			
施設名	佐久間図書館			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町佐久間2431-3			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法			
条例	浜松市立図書館条例			
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)			
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民、市外来館者、観光客			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	10:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	360.84	土地面積 488.00	
	構造(主要建物)	木造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1989/3/20		
	経過年数(主要建物)	34		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	83,950	—	83,950
	国・県	20,000	—	20,000
	寄付金	—	—	—
	その他	2,168	—	2,168
	市債	45,000	—	45,000
一般財源	16,782	—	16,782	
特記事項	—			



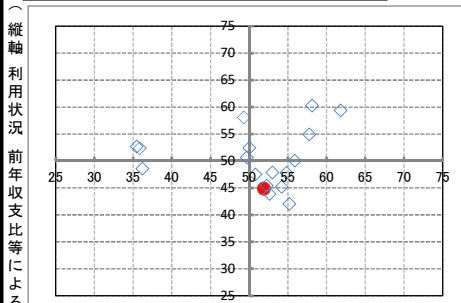
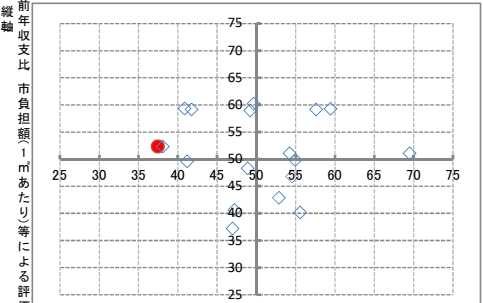
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	12	11	13
	収入計(A)	12	11	13
支出(千円)	人件費	8,607	8,575	8,566
	物件費(委託料)	640	668	503
	維持補修費(修繕費)	281	174	507
	物件費(光熱水費)	1,083	933	844
	物件費(借地利)	691	691	691
	支出計(B)	11,302	11,041	11,111
行政コスト(B-A)	11,290	11,030	11,098	
収支前年比	102.36	99.39	102.45	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	4,256	4,229	4,301
	開館日数/年	287	288	266
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	4,991	5,476	4,406
	蔵書数	20,575	20,694	20,618
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2017	空調設備更新工事	8,316			
2014	屋根改修工事	18,098			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類			
その他の分類			
03-105	佐久間協働センター体育館	地域	0.1
03-103	佐久間歴史と民話の郷会館・旧佐久間協働センター	地域	0.3
26-024	佐久間浄化センター	—	0.6
13-086	半場団地	地域	0.7
15-092	佐久間小学校	生活	0.8
08-080	佐久間幼稚園	生活	0.9
02-007	半場教職員住宅	地域	0.9
14-028	天竜消防署佐久間出張所	地域	1.2



基本情報	リストNo	06-016	施設コード	00883	所管課	本庁	市民部中央図書館	
	施設名	佐久間図書館		施設	市民部中央図書館			
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
複合施設								
関連政策名 知の拠点としての図書館機能の拡大								
施設運営分析	設置目的(再掲)							
	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)							
	主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービス(観光案内を含む)						
	主な利用者	地域住民及び市内全域の市民、市外来館者、観光客						
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項			図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規程				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	おはなし会、えほんとわらべうたの会、おでかけおはなし会等・9回(2021年5回、2020年6回)	2022	—	不定数	92	
2021				—	不定数	56		
2020				—	不定数	78		
2022				—	不定数	22		
事業②		ブックスタート・7回(2021年5回、2020年4回)	2021	—	不定数	47		
			2020	—	不定数	30		
			2022	—	不定数	109		
事業③		図書館講座、イベント等・10回(2021年9回、2020年3回)	2021	—	不定数	90		
			2020	—	不定数	20		
	2022		929	—	—			
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2021	961	—	—			
		2020	932	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	平成元年の建築から34年が経過し各設備の改修時期を迎えている。特に、外壁の劣化や壁面等のクラックが見られ、修繕の必要がある。						
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努めるとともに、照明設備は他館の状況を含めて計画的にLED化工事を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	31,288	30,568	30,756	1人当たりのコスト(円)	2,653	2,608	2,580
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	39,338	38,299	41,722
	1日当たり利用者(人)	15	15	16	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	24.3	26.5	21.4	1貸出冊当たりのコスト(円)	2,262	2,014	2,519
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館閉館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努めつつ、今後の利用状況等を踏まえ、大きな変化が見込まれた場合は、地域の実情に合わせた対応を検討する。								



リストNo	06-017	施設コード	01211			
利用用途別分類(施設分類)	図書館					
施設名	春野図書館					
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川1327-1					
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美			
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美			
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法					
条例	浜松市立図書館条例					
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	9:00～17:30					
建物情報	総延床面積	659.62	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	木造			土地面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(I <sub>B</sub> 値)(主要建物)	新			うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—			代表地目(現況地目)	
	建築年月日(主要建物)	1992/7/24				
	経過年数(主要建物)	30				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
	180,247	—	180,247			
財源	国・県	20,000	—	20,000		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	80,000	—	80,000		
	一般財源	80,247	—	80,247		
特記事項	—					



	項目	2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	12	49	27
	収入計(A)	12	49	27
支出(千円)	人件費	13,922	13,891	13,246
	物件費(委託料)	1,303	1,279	1,355
	維持補修費(修繕費)	1,597	903	1,282
	物件費(光熱水費)	1,582	1,150	1,268
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	18,404	17,223	17,151
行政コスト(B-A)	18,392	17,174	17,124	
収支前年比	107.09	100.29	102.03	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	933	933	933	

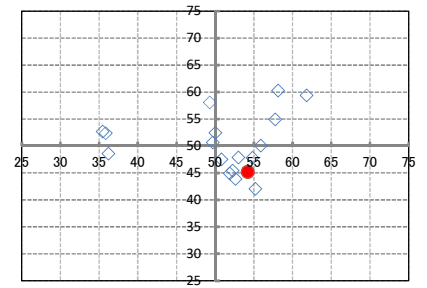
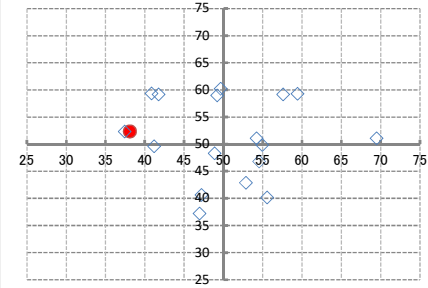
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	9,165	11,302	9,075
	開館日数/年	285	287	266
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	10,764	12,130	11,286
	蔵書数	41,322	40,439	39,431
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	5,419	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	空調設備更新工事	23,430			
	2013	外壁木部塗装工事	6,032			
	2008	テラス等改修工事	3,833			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-026	春野歴史民俗資料館	地域	0.0
10-019	春野福祉センター	地域	0.0
01-025	春野協働センター	地域	0.3
14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域	0.3
14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ	0.4
21-007	春野斎場	地域	0.6
26-022	気田浄化センター	—	0.8
03-017	春野文化センター	地域	1.3



基本情報	リストNo	06-017	施設コード	01211	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	春野図書館		施設	市民部中央図書館		
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	2	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		少子高齢化が進んでいるが、一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。				
	特記事項		図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		ブックスタート 6回(2020年:4回、2021年:6回)	2022	—	不定数	34	
			2021	—	不定数	29	
			2020	—	不定数	26	
事業②		図書館講座科学あそび・実験教室 開催日数:1日(2020年:1日、2021年:1日)	2022	7	8(組)	11	
			2021	7	8(組)	13	
			2020	7	8(組)	14	
事業③		ためきのもりクリスマスコンサート 開催日数:1日(2020年:0日、2021年:1日) ※新型コロナウイルス対策によりR3(2021)年度は「クリスマスおたのしみ会」として開催	2022	20	不定数	23	
			2021	—	不定数	10	
			2020	—	—	—	
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2022	1,685	—	—		
		2021	1,572	—	—		
		2020	1,569	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	平成4年の建築から30年が経過し、各設備の改修時期を迎えている。特に、バルコニーの損傷がみられるため修繕の必要がある。					
	対応策	建物・設備の劣化に対して修繕等を検討・実施し、適切な維持管理に努めるとともに、照明設備は他館の状況を含めて計画的にLED化工事を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	27,883	26,036	25,960	1人当たりのコスト(円)	2,007	1,520	1,887
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	64,533	59,840	64,376
	1日当たり利用者(人)	32	39	34	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	26.0	30.0	28.6	1貸出冊当たりのコスト(円)	1,709	1,416	1,517
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館閉館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。 また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。 また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努めつつ、今後の利用状況等を踏まえ、大きな変化が見込まれた場合は、地域の実情に合わせた対応を検討する。								

リストNo	06-018	施設コード	04712	
利用用途別分類(施設分類)	図書館			
施設名	都田図書館			
所在(町名・番地)	北区都田町8751-2			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
	施設	市民部中央図書館	課長名 枝村 賢美	
設置根拠(法)	教育基本法、社会教育法、図書館法			
条例	浜松市立図書館条例			
設置目的	市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)			
主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	ヴィアックス・東海ビル管理共同事業体			
開館時間	9:00 ~ 18:00			
建物情報	総延床面積	1,181.73	土地面積 4,099.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2016/1/29		
	経過年数(主要建物)	7		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	436,159	—	436,159
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	408,100	—	408,100
	一般財源	28,059	—	28,059
特記事項	—			



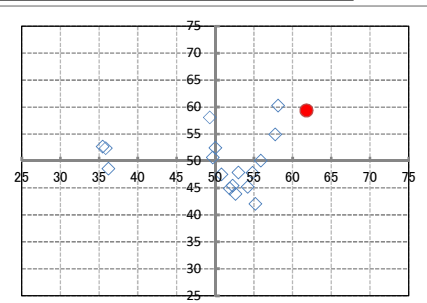
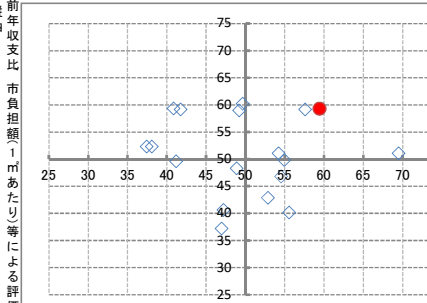
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	281	276	474
	収入計(A)	281	276	474
支出(千円)	人件費	0	0	26,779
	物件費(委託料)	0	0	2,659
	維持補修費(修繕費)	0	0	163
	物件費(光熱水費)	0	0	1,568
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	31,169
行政コスト(B-A)		-281	-276	30,695
収支前年比		101.81	-0.90	100.54
(参考)指定管理料		0	0	32,036
(参考)減価償却費		7,802	7,802	7,802
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	116,348	121,298	105,237
	開館日数/年	298	299	275
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	278,672	303,994	263,994
	蔵書数	73,092	70,196	67,047
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	115	230,461	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	新築工事(建築工事)	274,866			
2015	新築工事(外構工事)	64,803			
2015	新築工事(機械設備工事)	46,828			
2015	新築工事(電気設備工事)	22,454			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
15-072	都田南小学校	生活	0.1	
07-051	ひばり放課後児童会	生活	0.2	
03-106	市民音楽ホール	市域	0.5	
01-031	新都市市民サービスセンター	生活	0.5	
17-007	都田総合公園	地域	0.9	
26-034	都田中継ポンプ場	—	1.0	



基本情報	リストNo	06-018	施設コード	04712	所管課	本庁	市民部中央図書館
	施設名	都田図書館			施設	市民部中央図書館	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	知の拠点としての図書館機能の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の暮らしを支える知の拠点として、図書館法第10条の規定に基づき設置(浜松市立図書館条例)					
		主な業務内容	図書等の収集・保存及び提供、各種講座・おはなし会の開催、レファレンスサービスなど				
		主な利用者	地域住民及び市内全域の市民(全図書館の資料は共通利用しているため)				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			継続的なニーズがあるため一定の利用者がある。			
	特記事項			図書館法第10条で地方公共団体の条例での設置を規定			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		おはなし会・えほんとわらべうたの会 21回(2020年:0回、2021年:9回)	2022	—	不定数	164	
			2021	—	不定数	51	
			2020	—	—	—	
事業②		ブックスタート 25回(2020年:18回、2021年:23回)	2022	—	不定数	187	
			2021	—	不定数	178	
			2020	—	不定数	175	
事業③		調べ学習講座 0回(2020年:1回、2021年:2回) ※R4年度は中央図書館にてオンライン講座を実施	2022	—	—	—	
			2021	—	18	17	
			2020	—	8	9	
事業④	図書・新聞雑誌等資料収集	2022	7,160	—	—		
		2021	6,382	—	—		
		2020	7,094	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成28年の開館から7年が経過し、換気口のホコリやカーペットタイルの汚れ等が見られるようになってきた。					
	対応策	現時点では建物・設備に大きな不具合は見られないが、要因となる汚れ、詰まり、腐食等は早期発見できるよう館内外の巡視を徹底し、適切な維持管理に努める。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者制度導入済						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-238	-234	25,975	1人当たりのコスト(円)	-2	-2	292
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	-943	-923	111,618
	1日当たり利用者(人)	390	406	383	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	381.3	433.1	393.7	1貸出冊当たりのコスト(円)	-1	-1	116
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	平成28年度の都田図書館閉館により、本市における図書館の空白地帯は解消され、現行体制(23館1分室)は適正な配置となっています。今後は、各館の適切な維持管理に努めるとともに、拠点となる無休館以外の単独館については、隣接する他の公共機関等との複合化を将来にわたり検討します。また「浜松市図書館ビジョン」(平成30年10月策定)で掲げた取り組みを執行するため、インターネットなどを活用した図書館サービスの充実やサービススポットの設置、更なる民間活力の活用など、利用者が快適に過ごすことができる環境づくりに引き続き努めます。また、改修や移転と併せてレイアウト等を工夫することにより、絶えず変化する市民ニーズに対応します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面は適正な管理に努めるための修繕等を実施し、大規模な施設整備が必要となる時期には改修、複合化、小規模化、統廃合等を検討する。								